

長寿科学総合研究事業

厚生労働科学研究費補助金研究事業の概要

研究事業（研究事業中の分野名）：長寿科学総合研究事業

所管課：老健局総務課

予算額（平成16年度）： 1,425,678千円

①研究事業の目的

老化や主要老年病の診断治療といった老年医学に加え疫学、介護、リハビリ、社会科学等、長寿に関連する分野の総合的な研究を行うことを目的としており、今後はゴールドプラン21や介護保険制度をはじめとした高齢者施策に直結した分野を推進していくこととしている。

②課題採択・資金配分の全般的状況

15年度採択課題一覧（別紙参照）

課題採択の留意事項：事前評価委員会において、学術的・行政的見地からの評価を行い、行政諸施策のサービス提供や臨床への応用が可能な研究等、長寿・高齢者施策に直接結びつくものを重点的に採択することとしている。

③研究成果及びその他の効果

医学的分野では疾患関連蛋白、老化や老年病発症の機序の解明が進み、また、リハビリテーションに関する諸研究の成果が国の新たな方針に反映された。

政策研究分野においては、介護予防事業やケアマネジメントの評価、要介護認定や介護サービスの検証、高齢者の権利擁護等に関する科学的根拠の蓄積に大きな成果が見られた。

④行政施策との関連性・事業の目的に対する達成度

医学的分野のみならず、ゴールドプラン21、老人保健事業や介護保険制度、対がん10か年戦略、メディカルフロンティア戦略など、様々な行政施策と連動しつつ研究成果がこれらの施策に反映され、本研究事業の目的が十分達成されつつあるが、高齢者介護やリハビリテーションなど発展途上の分野もあり、今後の研究の促進が期待される。

⑤課題と今後の方向性

本研究事業は基礎医学的分野から社会科学的分野まで幅広く、厚生労働行政への応用や、臨床等の実際のサービス提供への応用が可能な研究に重点をおいて総合的見地から課題採択及び評価を行っており、今後もこの方向性を推進していくことが重要である。一方で、老化分野・老年病分野といった基礎・臨床医学的分野と介護分野・社会科学分野等といった政策科学的分野はそれぞれ評価尺度が異なり、均衡のとれた資金配分が難しくなっている。

今後は、ゲノム科学やたんぱく質科学といった先端科学の成果を背景とした老年医学の進展を見据えつつ、現在進められている介護保険制度、ゴールドプラン及び老人保健事業等の見直しの動きと十分連動し、均衡ある高齢者の保健医療技術の向上と介護や高齢者政策の進展に資するよう、痴呆・骨折臨床研究事業も併せ本研究事業のあり方を検討する必要がある。

⑥研究事業の総合評価

本研究事業における基礎・臨床的な研究成果により東洋医学を含む高齢者医療の進展がみられ、また、介護や看護技術、保健福祉政策及び社会科学的側面においても研究成果がその前進に大きく寄与してきた。今後とも長寿科学に関する研究が、保健・医療・福祉の全般にわたり我が国の厚生科学において重要な役割を果たすことが期待される。

平成15年度長寿科学総合研究事業採択課題一覧(新規・継続)

NO.	開始	終了	主任研究者	フリガナ	所属施設	職名	研究課題名
1	13	15	白澤 卓二	シラサワタクジ	(財)東京都老人総合研究所・分子老化研究グループ	研究グループリーダー	寿命制御遺伝子に関する分子遺伝学的研究
2	13	15	松田 道行	マツダミチユキ	大阪大学微生物病研究所	教授	Ras依存性の細胞老化機構の解明
3	13	15	丸山 直記	マルヤマナオキ	(財)東京都老人総合研究所・加齢臓器障害研究グループ	研究部長	加齢に伴う多臓器障害発症機序と予防に関する基礎的研究
4	13	15	榎本 武美	エノモトタケミ	東北大学大学院薬学研究科	教授	WHIPを中心にしたWerner症候群の早期老化の分子機構の研究
5	13	15	中山 俊憲	ナカヤマシノブ	千葉大学大学院医学研究院	教授	免疫系の老化をターゲットにした細胞療法に関する研究
6	13	15	小川 紀雄	オガワノリオ	岡山大学大学院医歯学総合研究科	教授	大脳基底核部ドパミン神経系の維持・再生に関する研究
7	13	15	高田 和子	オカフシキ	独立行政法人国立健康・栄養研究所健康増進研究部	主任研究員	高齢者の自立度及びQOLの維持及び改善方法の開発に関する大規模研究
8	13	15	内藤 桂津雄	ナカシマキイチ	日本大学文理学部	助教授	痴呆予防と初期痴呆高齢者に対する日常生活支援の方法に関する研究
9	13	15	佐藤 祐造	サウエウゾウ	名古屋大学総合保健体育科学センター	教授	高齢者の健康増進のための運動指導マニュアル作成に関する研究
10	13	15	吉川 泰弘	ヨシカワヤスヒロ	東京大学大学院農学生命科学研究科	教授	霊長類を用いて作出した老人病モデルによる新規治療法の開発と評価-脳・感覚器疾患等を中心にして-
11	13	15	高濱 和夫	タカハマカズオ	熊本大学薬学部	教授	脳内グリシン受容体を標的とした頻尿改善薬としての排尿反射強化薬の開発に関する研究
12	13	15	丹生 健一	ニブケンイチ	神戸大学大学院医学系研究科器官治療医学講座	教授	老化に伴う嗅覚障害に対する治療法の開発に関する研究
13	13	15	崎原 盛造	サキハラセイゾウ	沖縄国際大学総合文化学部人間福祉学科	教授	沖縄における長寿とサクセスフル・エイジングに関する研究
14	13	15	小阪 憲司	コサカケンジ	横浜市立大学医学部	教授	剖検例に基づいた非アルツハイマー型変性痴呆の臨床的研究
15	13	15	坂田 俣教	サカタマサユキ	埼玉県立大学保健医療福祉学部	教授	高齢者の寝たきりの原因の解明及び予防に関する研究
16	13	15	武谷 雄二	タケタニユウジ	東京大学大学院医学系研究科産婦人科学講座	教授	老年者に対するホルモン補充療法に関する総合的研究
17	13	15	森本 茂人	モリモトシゲト	金沢医科大学医学部老年病学	教授	高齢者疾患の易発症性に対する遺伝的負荷の解明
18	13	15	柿木 保明	カキノキヤスアキ	国立療養所南福岡病院	歯科医長	高齢者の口腔乾燥症と唾液物性に関する研究
19	13	15	石川 冬木	イシカワフユキ	京都大学大学院生命科学部	教授	老化細胞で見られるストレス反応に基づいた細胞老化のテーラーメイド的診断・治療技術の開発

平成15年度長寿科学総合研究事業採択課題一覧(新規・継続)

NO.	開始	終了	主任研究者	フリガナ	所属施設	職名	研究課題名
20	13	15	真田 弘美	サナダヒロミ	金沢大学医学部	教授	褥創ケアにおける看護技術の標準化とその経済評価
21	13	15	高橋 泰	タカハシタイ	国際医療福祉大学医療福祉学部	教授	自立から死亡までのプロセスとコストの分析
22	13	15	辻 一郎	ツジイチロウ	東北大学大学院医学系研究科社会医学講座公衆衛生学分野	教授	介護予防に特化した在宅訪問指導プログラムの有効性評価に関する介入研究
23	13	15	池上 直己	イケガミナオキ	慶應義塾大学医学部医療政策・管理学教室	教授	介護者負担感、充実感に関する簡便な尺度の開発と介護サービス利用に関する調査研究
24	13	15	小山 秀夫	コヤマヒデオ	国立保健医療科学院経営学部	経営科学部長	高齢者保健・医療・福祉サービス提供機関におけるマネジメントに関する実態分析並びに理論構築に関する研究
25	13	15	多々良 紀夫	タタラシオ	淑徳大学社会学部	教授	高齢者虐待の発生予防及び援助方法に関する国際的研究
26	13	15	柴田 博	シバヒロシ	桜美林大学大学院国際学研究科	教授	高齢者における健康で働きがいのある就労継続の社会的基盤に関する研究
27	13	15	福土 審	フクトシン	東北大学大学院医学系研究科人間行動学分野	教授	高齢者の機能的消化管障害に対する漢方薬の効果
28	14	16	長瀬 隆英	ナガセタカヒデ	東京大学医学部	講師	高齢者炎症性・難治性肺疾患における病態分子機序の解明および新治療法開発の戦略的展開
29	14	16	村山 繁雄	ムラヤマシゲオ	東京都老人総合研究所老化臨床神経科学研究グループ	研究グループ長	軽度認知障害の前方視的・後方視的研究
30	14	16	上島 弘嗣	ウエシマヒロツグ	滋賀医科大学福祉保健医学教室	教授	健康寿命およびADL/QOL低下に影響を与える要因の分析と健康寿命危険度評価ケーブル作成に関する研究・NIPPON DATA80・90の19年、10年の追跡調査より
31	14	16	下方 浩史	シモカタヒロシ	国立療養所中部病院長寿医療研究センター疫学研究部	部長	老化因子と加齢に伴う身体機能変化に関する長期縦断的疫学研究
32	14	16	水澤 英洋	ミズサワヒデヒ	東京医科歯科大学(大学院脳神経機能病態学)	教授	α トコフェロール転送蛋白遺伝子変異による酸化ストレス病態の解明
33	14	16	鈴木 隆雄	スズキタカオ	(財)東京都老人総合研究所	副所長	寝たきり予防を目的とした老年症候群発生予防の検診(「お達者検診」)の実施と評価に関する研究
34	14	15	鳩野 洋子	ハトノヨウコ	国立保健医療科学院公衆衛生看護部	室長	要介護状態予防が必要な対象把握に対する研究
35	14	16	遠藤 玉夫	エントウタマオ	(財)東京都老人総合研究所糖蛋白質研究グループ	副参事研究員	老化に伴うカルパイン活性制御不全の機構解明
36	14	16	荒井 啓行	アラヒロユキ	東北大学医学部附属病院	助教授	脳アミロイド画像法によるアルツハイマー病の早期診断と予防医学
37	14	16	道川 誠	ミチカワマコト	国立療養所中部病院長寿医療研究センター痴呆疾患研究部	臨床研究室室長	アルツハイマー病発症の分子機構におけるコレステロールの役割の検討
38	14	16	折茂 肇	オリモハジメ	健康科学大学(平成15年度より)	学長	骨粗鬆症におけるテーラーメイド医療の確立に関する研究

平成15年度長寿科学総合研究事業採択課題一覧(新規・継続)

NO	開始	終了	主任研究者	カナ	所属施設	職名	研究課題名
39	14	16	北 徹	キタオトル	京都大学大学院医学研究科循環病態学	教授	心筋梗塞、脳梗塞の予知因子の同定と予知法の開発
40	14	16	河野 正司	コウノシヨウジ	新潟大学歯学総合研究科顎顔面再建学講座	教授	情報ネットワークを活用した行政・歯科医療機関・病院等の連携による要介護者口腔保健医療ケアシステムの開発に関する研究
41	14	16	山谷 睦雄	ヤマヤムツオ	東北大学医学部附属病院	助教授	肺癌および慢性肺気腫原因遺伝子の研究
42	14	16	深田 伸二	フカダシンジ	国立療養所中部病院外科	第一外科医長	高齢者手術の安全性の向上及び術後合併症の予防に関する研究
43	14	16	千原 和夫	チハラカスオ	神戸大学大学院医学系研究科	教授	老年病に対する成長ホルモン補充療法の有効性に関する研究
44	14	16	伊藤 裕	イトウヒロシ	京都大学大学院医学研究科臨床病態医科学	助教授	ヒト胚性幹細胞(ES細胞)を用いた「寝たきり」高齢者に対する再生医療の開発
45	14	16	葛谷 雅文	クズヤマサミ	名古屋大学大学院医学系研究科健康社会医学専攻	助教授	高齢者の施設・在宅における終末像の実証的検証および終末期ケアにおける高齢患者の自己決定のための情報開示のあり方に関する研究
46	14	16	才藤 栄一	サイトウエイイチ	藤田保健衛生大学医学部 リハビリテーション医学講座	教授	摂食・嚥下障害患者の「食べる」機能に関する評価と対応
47	14	16	赤川 安正	アカガワヤスマ	広島大学大学院医歯薬科学総合研究所	教授	舌機能評価を応用した摂食嚥下リハビリテーションの確立
48	14	16	高橋 龍太郎	タカハシリュウタロウ	(財)東京都老人総合研究所介護・生活基盤研究グループ	参事研究員	脳卒中患者の失認・失行と生活障害に関する研究
49	14	16	西脇 友子	ニシワキトモコ	新潟大学医学部保健学科看護学専攻	講師	寒冷・豪雪地域におけるデイサービスの効果に関する研究
50	14	16	遠藤 英俊	エンドウヒデトシ	国立療養所中部病院内科	内科医長	要介護状態に応じた介護サービスに関する実証研究—立案された介護サービス計画の質の評価に関する研究
51	14	16	大川 弥生	オオカワヤヨイ	国立療養所中部病院長寿医療研究センター 老人ケア研究部	部長	在宅高齢者に対する訪問リハビリテーションのプログラムとシステムに関する研究
52	14	16	三野 善央	ミノヨシオ	大阪府立大学社会福祉学部	教授	老人精神疾患患者の経過に及ぼす家族の感情表出の影響
53	14	16	遠山 茂樹	トヤマシゲキ	東京農工大学工学部機械システム工学科	教授	超強力サンドイッチ型超音波モータを用いたパワーアシストスーツの実用化
54	14	15	井上 由起子	イノウエユキコ	国立保健医療科学院施設科学部	主任研究官	居住福祉型特別養護老人ホームにおけるケアと空間のあり方に関する研究
55	14	16	長田 久雄	オサダヒサオ	桜美林大学大学院国際学研究科老年学専攻	教授	高齢者の社会参加に関連する要因の解明と支援システム構築に関する研究
56	14	16	水村 和枝	ミヅムラカサエ	名古屋大学環境医学研究所	教授	高齢者の筋・骨格系の痛みに対する鍼灸及び徒手的治疗法の除痛効果に関する基礎的および臨床的研究
57	14	16	北島 政樹	キタジママサキ	慶應義塾大学医学部外科学教室	教授	漢方薬(十全大補湯)による術後感染症予防

平成15年度長寿科学総合研究事業採択課題一覧(新規・継続)

NO	開始	終了	主任研究者	フリガナ	所 属 施 設	職 名	研 究 課 題 名
58	15	16	石井 拓男	イシイ タクオ	東京歯科大学社会歯科学研究室	教授	高齢者の口腔保健の維持増進に関する研究
59	15	16	野首 幸嗣	ノクビ タカシ	大阪大学大学院歯学研究科	教授	高齢者の口腔乾燥症と咀嚼機能および栄養摂取との関係
60	15	16	植田 真一郎	ウエダ シンイ	琉球大学医学部医学科	臨床薬理学講座教授	高齢者高血圧における降圧利尿薬の適性使用のための無作為化臨床試験
61	15	17	萩野 浩	ハギノ ヒロシ	(社)日本整形外科学会骨粗鬆症委員会	骨粗鬆症委員会委員	老人骨折の発生・治療・予後に関する全国調査
62	15	16	三木 哲郎	ミキ テツロウ	愛媛大学医学部老年医学講座	教授	老化、及び老年病関連遺伝子同定を目指した遺伝疫学研究
63	15	16	乾 賢一	イヌイ ケンイ	京都大学医学部附属病院薬剤部	教授	腎薬物トランスポータの遺伝子機能解析を基盤とした高齢者の医薬品適正使用推進に関する研究
64	15	16	水島 徹	ミズシマ トオ	岡山大学薬学部	助教授	蛋白質のフォールディング異常に着目した、分子シャペロンによる神経変性疾患の根本的治療法の開発
65	15	16	大類 幸	オオルイ タカ	東北大学医学部附属病院老年・呼吸器内科	講師	老人性肺炎予防の新戦略—Evidence Based Medicine確立のための大規模研究
66	15	17	原 英夫	ハラ ヒデオ	国立療養所中部病院長寿医療研究センター	室長	アルツハイマー病に対する経口ワクチン療法の開発に関する研究
67	15	16	寒川 賢治	カンカワ ケン	国立循環器病センター研究所生化学部	部長	高齢者のソフトポーズとエネルギー代謝に及ぼす新規ホルモングレリンの役割と臨床応用
68	15	17	西岡 清	ニシオカ キヨ	東京医科歯科大学医学部附属病院	病院長	国立大学病院医療に及ぼすDPC導入の影響—主要老年病の医療・治療の標準化・充実を目指して—
69	15	17	久木山 清貴	クギヤマ キヨ	山梨大学医学部内科学講座	教授	高レムナトリホ蛋白血症に合併する虚血性心疾患および脳梗塞の予防・治療法確立のための大規模臨床研究
70	15	17	鳥羽 研二	トバ ケンジ	杏林大学医学部高齢医学教室	教授	老年症候群に関与する脳波質下虚血病変の危険因子解明に関する縦断研究
71	15	16	安藤 富士子	アンドウ フジ	国立療養所中部病院長寿医療研究センター疫学研究部	室長	運動・栄養による骨量減少予防効果に関する縦断的疫学研究—骨粗鬆症予防への遺伝子多型別のストラテジー
72	15	16	井上 聡	イノウエ サト	東京大学医学部附属病院老年病科	講師	ステロイドシグナル経路を分子標的とした新しい老年病の予防・治療法の開発
73	15	16	井藤 英喜	イトウ ヒテキ	東京都多摩老人医療センター	院長	高齢者糖尿病治療と健康寿命に関するランダム化比較研究
74	15	17	苅尾 七臣	カリオ カズオ	自治医科大学医学部ゲノム機能研究部	教授	家庭血圧を用いた高齢者高血圧の早期血圧とその変動制の評価と管理法の確立
75	15	16	祖父江 元	ソブエ ゲン	名古屋大学大学院医学系研究科	教授	Dorfinによる老年期神経変性疾患の治療法の開発
76	15	16	村嶋 幸代	ムラシマ サチ	東京大学大学院医学系研究科地域看護学分野	教授	高齢者の終末期ケアを支える地域ケアシステムの構築に関する研究

平成15年度長寿科学総合研究事業採択課題一覧(新規・継続)

NO.	開始	終了	主任研究者	フリガナ	所属施設	職名	研究課題名
77	15	16	中村 耕三	ナカムラ コウ	東京大学医学部附属病院整形外科	教授	高齢化社会に適応する人工関節の開発—MPCポリマーによる長寿命人工関節に関する戦略的研究—
78	15	17	清野 裕	セイノ ユタカ	京都大学医学研究科糖尿病・栄養内科学	教授	合併症発症進展を見据えた糖尿病食事療法の開発推進に関する研究
79	15	17	西谷 信之	ニシタニ ノブ	国立身体障害者リハビリテーションセンター研究所感覚機能系障害研究部	室長	高齢者の脳機能障害解明とリハビリテーションに関する研究
80	15	17	高山 忠雄	タカヤマ タダ	東北文化学園大学医療福祉学部	教授	訪問・通所リハビリテーションの地域特性別実態把握からみた在宅自立生活支援プログラムの開発評価に関する研究
81	15	17	筒井 孝子	ツツイ タカコ	国立保健医療科学院福祉サービス部	室長	介護報酬改定が地域における介護サービスの質に与える影響に関する統計的研究
82	15	16	荒井 由美子	アライ ユミコ	国立療養所中部病院長寿医療研究センター看護介護心理研究室	室長	「在宅介護の質」:評価尺度の開発および介護負担との関連について
83	15	16	安村 誠司	ヤスマラ セイ	福島県立医科大学医学部公衆衛生学講座	教授	介護予防事業の有効性の評価とガイドラインの作成
84	15	16	鈴木 晃	スズキ アキラ	国立保健医療科学院建築衛生部	室長	ケアマネジャー向け住宅改修の研修プログラムの開発
85	15	16	法化 陽一	ホケズ ヨウイチ	大分県立病院神経内科	部長	気管内痰の自動吸引器の実用化研究
86	15	16	川瀬 哲明	カワセ テツア	東北大学大学院医学系研究科耳鼻咽喉科学分野	助教授	音声聴取改善を目的とした新しい両耳補聴方式の開発
87	15	17	新野 直明	ニイノ ナオア	国立療養所中部病院長寿医療研究センター疫学研究部	室長	高齢者における効果的な転倒予防活動事業の推進に関する研究
88	15	15	本間 昭	ホンマ アキラ	(財)東京都老人総合研究所痴呆介入研究グループ	参事研究員	アルツハイマー型痴呆診断・治療・ケアガイドラインを用いた老人保健及び福祉に従事する人材の育成・研修に関する研究
89	15	17	池田 学	イケダ マナブ	愛媛大学医学部	助教授	痴呆高齢者の自動車運転と権利擁護に関する研究